



2018・1・21

第 294 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

年内の改憲案発議をめざす安部内閣・自民党

与野党こえた合意を - 安倍首相

安倍首相は4日、恒例の伊勢神を宮参拝した後の記者会見で、憲法「改正」について次のように語りました。

「今年こそ新しい時代への希望を生み出すような憲法のあるべき姿を国民にしっかりと提示し、改正に向けた国民的な論議を一層深めていく。自民党総裁としてそのような1年にしたい。時代の変化に応じ、国の変化に応じ、憲法のあり方を議論するのは当然だ。具体的な検討は党に任せる。スケジュールありきではない。与野党にかかわらず、広い合意が形作られることが期待される」。

不承不承の了解でもいいー二階幹事長

自民党の二階俊博幹事長は12日夜、BSフジの番組で改憲案の発議について、「今まで（議論が）相当のところまで来ている。1年もあればいいんじゃないか」「こんな大問題を3年先でいいと言っていたらいつまでたっても実現できない。一定の努力は腹をくくってやるべきだ」「国民の理解がなければ何もできない。そこへ焦点をあてて議論を始める。不承不承理解したという程度

でいいから国民の大方の了解を得られる努力をすべきだ」と語りました。

新年初のスタンディング

【札幌市手稲区／新発寒九条の会】

2018年1月3日午後1時、JR手稲駅自由路「あいくる」に、のぼりやプラスターをもって市民が集まってきました。本多平直衆議院議員(立憲民主)や佐々木明美札幌市議の顔もあります。

昨年、野党共闘を求めて衆院選挙をたたかった面々です。昨年12月17日の総会で、「平和っていいね！ていね区民の会」と会を再スタートさせ、「安倍9)条改憲No！3000万署名」を、手稲区でも大いに押し広げようと方針を決めました。

「ていねの会」とともに、各地域の9条の会や、革新懇、LAST、立民・共産の政党支部など、この日集まった人は36名でした。新発寒9条の会からは6人が参加、30分間で集めた署名は14筆でした。

後日、堀井さん(LAST)から、「頑張ってください」と涙を流して手を握ってくれたご婦人がいた、と報告がありました。

(「新発寒九条の会つうしん」第75号)

参加者全員で「9条守れ」を唱和

【青森県青森市／青森県九条の会】 青森市で3日昼、買い物客や、帰省客が行き交う駅前鈴公園前に集まった参加者23人が、今年初の「アベ政治を許さない」スタンディング行動を行いました。同市では、県九条の会が中心となって2015年11月から毎月3日、休まず行ってきました。

一人、また一人と参加者が来るたびに、新年のあいさつ、「今年こそ安倍政権を倒しましょう」など飛び交い、母親(37)と一緒に参加した4歳の男児も、「今年もよろしく」とあいさつしていました。

快晴の空の下、参加者全員で「9条を守ろう、みんなにで守ろう」と唱和しました。

式場近くで新成人に訴え

【岐阜県羽島市／はしま九条の会】 はしま九条の会」は7日、成人式会場前で「安倍9条改憲NO! 3000万署名」を呼びかけ、新成人と対話しました。

代表世話人の近藤史さん(73)が、新成人へのお祝いとともに、「戦争しないと約束した大切な憲法を守ろう」と書いたチラシを配布し、署名を呼びかけました。

成人式に夫婦で参加した佐藤絢斗さん(19)は、8カ月の乳児を抱いて、「戦争は反対ですよ。この子らのためにも憲法は変えてはいけません。安倍首相はダメ」と家族全員の署名をしました。

アルバイトをしているスーツ姿の男性は、「時給900円で結婚もできない。消費税10%は絶対反対」、振袖姿の女性は「日本はアメリカに頼り過ぎ」など、安倍政権のごう慢

な政治姿勢に強い不満を語りました。

新成人にメッセージカード配布

【埼玉県戸田市／とだ九条の会等】 とだ九条の会と憲法改悪反対戸田共同センターは8日、戸田市の成人式会場前で、「9条改憲NO! 3000万署名」への協力を呼びかける「成人式宣伝」を行いました。

「九条の会」会員のほか、憲法改悪反対戸田共同センターから新日本婦人の会や年金者組合、民主商工会、地区労働組合協議会などあわせて31名が参加しました。

参加者らは、3000署名を呼びかけるプラスターや横断幕を掲げ、署名用紙付きのメッセージカード400枚を配布しながら「成人式おめでとうございます。一緒に憲法9条を守りましょう」と呼びかけました。

9条に自衛隊書き込む危険知らせ

【横浜市神奈川区／かながわく9条の会】 かながわく9条の会は8日午前、JR東神奈川駅前成人の日恒例の宣伝・署名に取り組みました。

神奈川区革新と共同の会や神奈川県高校教職員連絡会から20人以上が参加しハンドマイク宣伝と裏面に3000万署名用紙を印刷したビラを約300枚配布しました。

「9条に自衛隊を書き込めば「戦争する国へまっしぐらです」「安倍政権による9条改憲ノー、憲法9条守れの思いを署名に托してください」という訴えに、駆け寄って署名する人もいました。

「いま声をあげないとダメ」

【岐阜県／岐阜・九条の会】 岐阜・九

条の会は9日、冷たい風が吹き荒れる中、名鉄岐阜駅前で188回目の「9の日」行動に取り組みました。14人が参加し、安倍9条改憲NO！3000万署名を呼びかけました。

事務局の吉田隆さん（69）らが次々とリレートーク。「安倍9条改憲を国会で発議させないために、署名にご協力ください」と訴えました。

「戦争反対」「自衛隊員の命も、海外の人の命も、奪わせたくない」などと書いたプラカードをぶら下げた座馬惇子さんや青木理さんらは、通行人に署名付きのビラを配りながら、真剣に署名を訴えました。

信号待ちしていた女子高生（16）は「中学の時、集団的自衛権は憲法違反と学びました。戦争しないと決めた憲法を変えることには絶対反対です」とはっきりした口調で署名。70代の男性は「若い頃の安保闘争を思い出します。いま声を上げないとダメですね。頑張ってください」と激励。勤め帰りのサラリーマンや学生らが次々と署名に応じ、短時間で30人分が集まりました。

核兵器禁止条約とあわせて訴え

【三重県津市／九条の会・津、県原水協】

九条の会・津と三重県原水協が9日、津市のセンターパレス前で、9の日宣伝を行いました。約20人が参加して、「憲法9条を守ろう」、「核兵器禁止条約に日本は参加を」の横断幕やのぼりを掲げ、道行く人に「3000万署名」、「ヒバクシャ国際署名への協力を呼びかけました。

九条の会・岸のメンバーの珍道世匠、佐藤正明、木塚晴三の各氏がマイクを握り、9条改憲ノーと訴え、署名への協力を呼び

かけました。

珍道氏は「不戦永久の国家のために、9条改憲に反対することが重要」「現政権は憲法をないがしろにする政治」などと強調しました。

通りがかった女性（82）は、「北朝鮮とアメリカの動きは昔に戻っていくよう。二度と戦争がないように9条改憲に反対していく」と述べ、3000署名に応じました。

市民アクション始動へキックオフ

【和歌山県橋本市】 「安倍9条改憲NO！伊都・橋本市民アクションキックオフ集会」が13日、和歌山県橋本市で開かれ、「憲法9条わかやま県民の会の杉勝則氏が講演しました

講演後、保守・革新の枠を超えた地方議員や宗教家、教育者、芸術家、スポーツ関係者など幅広い人々がよびかけた同市民アクションの設立総会が開催され、3000万署名達成に向けた取り組みを話し合いました。

新たなミサイル配備に怒り

【秋田県／あきた女性九条の会等】 あきた女性九条の会、秋田県憲法共同センターは9日、秋田市のJR秋田駅前で宣伝・署名に取り組みました。時おり冷たい風雨が吹きぬける中、通行中の人たちにビラなどを配り、9条改憲反対3000万署名への協力を呼びかけました。

70代の男性は横断幕を指さし、「憲法を変えるのは絶対反対だ」と言います。子ども連れの家族、夫婦らが次々と署名しました。

陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」配備問題について関心が

高く候補地になっている自衛隊新居演習場近くに住む50代代の男性は「いきなり名前が挙がってびっくりした。何の説明もないまま閣議決定してしまって不安だ。こんな好き勝手なことをする人が憲法を変えるなんて、とんでもない」と話しました。

60代の女性らは「菅官房長官の出身県で、相当圧力がかかっているのかもしれないけど、戦争も標的になるのもごめん。やっぱり黙っていちゃダメだ」と署名しました。

改憲発議させない世論づくりが大事

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は9日朝、徳島市でスタンディング宣伝し、安倍9条改憲を許さないとアピールしました。

参加者らは徳島駅前の元町交差点4ヵ所に立ち、「アイ・ラブ憲法」「守ろう憲法」のプラカードを掲げました。

行動は、安倍政権が集団的自衛権の行使容認の閣議決定した直後の2014年9月から毎月行われています。

参加した市内の男性会社員(40)は「憲法の大切さを伝えたい。9条は変えさせない。市民の関心を広げ、改憲の発議をさせない世論をつくりたい」と語りました。

安倍首相は憲法尊重義務に違反

【愛媛県／憲法9条をまもるえひめ県民の会】 愛媛県民の会は9日、松山市の大街道一番町口で宣伝しました。11人が参加し、9条改憲に反対する3000万署名への協力を呼びかけました。

森英二事務局長は、安倍首相が年頭会見で今年の通常国会に自民党改憲案を提出す

る考えを示したことを批判。「憲法尊重擁護義務が課せられている首相が憲法を変えることを主張する。憲法をないがしろにする姿勢は許せない」と訴えかけました。

署名した市内の女性(72)は「安倍首相は恐ろしい。9条は守らなければなりません」と友人にも署名を促しました。

改憲反対野党が勢ぞろい

【埼玉県草加市／獨協学園九条の会等】

獨協学園九条の会とオール草加総行動の会は12月17日、草加市内で「草の根民主主義で安倍改憲を許さない草加市民フォーラム」を開き、200人以上が参加しました。

フォーラムには、立憲民主党の山川百合子、共産党の塩川鉄也両衆院議員のほか、社民党県連代表の金井誠氏と自由党県総支部会長の松崎哲久も参加しました。

山川氏は「市民と野党の共闘で国会へ送り出して頂いたことに責任の重さを感じます。国民が政治を行うという認識で活動しています」と話しました。

塩川氏は、「総選挙で自民党と公明党が議席の3分の2を占めた結果は、小選挙区制と共闘への分断・逆流の持ちこみにより生み出されたとして、「虚構の多数を打ち破るのは、国民多数の力です。力を発揮する市民と野党の共闘を前に進めるため頑張ります」と話しました。

参加者は、「9条改憲で戦争ができる自衛隊になれば、軍事費が増える。その財源は社会保険を減らして賄うのが明らかだ。9条改憲は25条の生存権も壊すもの」との発言など、憲法に対する思いや、署名の取り組みなどを発言し、交流しました。

アジア太平洋戦争の犠牲者遺族も

【東京都文京区／本郷・湯島九条の会】

第二火曜日のきょうの「本郷・湯島九条の会」定例昼街宣は「安倍 9 条改憲 NO ! 3000 万署名文京アクション」とともに行動しました。

211 人の参加を得て、「3000 万署名」は 38 筆集まりました。チラシのとりは今ひとつ物足りませんでした。雨上がりの本郷三丁目は青空が広がり快適な活動になりました。

署名してくださった方々の話をうかがうとアジア太平洋戦争中に身内を失った方々が多く、「二度と戦争をしてはいけない」その思いが重く伝わってきます。

午後 12-1 時の一時間は瞬く間に過ぎ去りました。マイクを握った多くの仲間はやはり思いが溢れ、安倍首相に憲法 9 条に「自衛隊を書き込む」ことをさせない訴えを熱情を込めておこなっていました。

「安倍 9 条改憲 NO ! 全国市民アクション」および 7500 ある九条の会の方々がきょうも街角で辻々でこのような街頭宣伝をおこなっている、その思いは目には見えませんがお互いにつながっています。

来月は 13 日（火）です。今回と同じように「安倍 9 条改憲 NO ! 3000 万署名文京アクション」の方々との共催です。多くの方々のご参加をお待ちしております。（16 日、「東京本郷・湯島九条の会」石井 彰）

反応期待し新聞に意見広告

【広島県／第九条の会ヒロシマ】 第九

条の会ヒロシマは、中国新聞に 3000 万人署

名の意見広告を掲載し、広く呼びかけることにしました。昨秋 3000 万人署名が全国紙に掲載され、5000 人以上の人たちから新聞の著名用紙を切り取って署名して届けられたそうです。広島には声を出し難い空気がありますが、一昨年参院選前、中国新聞に掲載した意見広告「憲法を守る人を選ぼう」を見て「安倍政治は許せん」という人から電話やメールや手紙が届きました。ですから今回も中国新聞に掲載し、署名をして声をあげて頂きたいのです。また全国各地でそれぞれの地方紙に意見広告を掲載され、広がることも期待しています。ご支援をよろしくお願い致します。（藤井）

（「第九条の会ヒロシマ」第 96 号）

分担して超党派リレートーク

【東京都国分寺市／国分寺 9 条の会】 9

条の会と市民連合@国分寺が毎月 9 日に共同して行ってきた「超党派リレートーク・駅頭宣伝」は、12 月からは 9 日は 9 条の会月例宣伝、19 日は市民連合@国分寺と手分けして行うことになりました。

12 月 9 日の 9 条の会の駅頭宣伝では、約 20 名の参加で「3000 万署名」に取り組み 1 時間で 70 筆以上の署名が集まりました。東京経済大学 OB・OG 9 条の会から 6 人の参加がありました。

19 日の市民連合@国分寺の 19 回目の超党派リレートークには 30 人以上の方が集まり 1 時間で 84 筆の署名が集まりました。今月は議会等の都合で、共産党・生活者ネット・無所属の市議 4 人の参加でしたが、いつもは立憲民主党・共産党・社民党・自由党・生活者ネット・無所属の方々が参加し

ます。

バス停で目があった人と対話

【群馬県高崎市／豊幡9条の会】 12月2日、鼻高団地を中心に署名活動をしました。10時に4人が団地に集合し、二班に分かれ一時間を目安に行動開始。私は何筆とれるか見当もつかず行動を共にしました。

留守宅が続きなかなか署名がとれません。そうこうしながら団地内「ぐるりん」のバス停近くに差し掛かるとバスを待つ年配の女性と目が合い私はおもわず会釈をしました。するとその方も会釈を返してくれました

「あのう、今私は、今の憲法を守るための署名を集めているところです」とズバツと切り出しました。警戒されるかなと思いましたが、意外にも「署名しますよ」と返してくれたのです。

K Tさんは私の唐突さに少し驚いたようですが、その女性が署名している間、安倍政権の危険性などの話をし、女性はその話に耳を傾けてくれました。女性と話をする内に「ぐるりん」への要望や問題点なども話してくれました。こうしたことから「署名活動は地域の人々との交流活動なのだなあ」と感じた次第です。

K Tさんは「署名活動は各戸訪問が基本で、牧野さんのように路上の人に声をかけてとったのは初めてだよ」と笑われました。

(「あきらめない」第49号 牧野誠司)

手記

団地を各戸訪問しての感想

神奈川県／あつぎ・九条の会 山本素子

私の住む町内の260軒ほどの戸建て住宅団地を、仲間と二人で3000万署名とヒバクシャ国際署名を持って5回に分けて訪問をしました。曜日や時間帯を変えてみましたが留守も多く在宅していたのは100軒ほどでした。

インターホンを押して町名と自分の名前を名乗り署名の趣旨を伝えると、意外なほどにドアを開けてくれました。ちょうどICANがノーベル平和賞を受賞しメディアも取り上げていたからでしょう、ヒバクシャ国際署名にはすぐに応じてくれました。

3000万署名については、シンプルに「自衛隊員の命を危険にさらす改憲はストップさせたい」と訴えました。対話した方の約4割が署名に応じてくださり、30代40代の子育て中のお母さん方や、戦争を体験された80代の方などと対話が弾み、12の方に九条の会の会員になっていただきました。

残りの約6割の方も頭から断る人は少なく、「そういうむずかしいことはわからない」「もう少し考えたいので保留する」という理由でした。

今回の署名行動はごく狭い範囲でした。しかし、国会発議の準備が着々と進められている中、9条改憲の危険性をもっともっと外に向けて語る必要があると痛感させられました。

今、私たちの地元の九条の会では、九条ニュースに折り込んだ署名受け取り訪問を始めています。それと同時進行で今回のような軒並み訪問を繰り返していきたいと思っています。

(「あつぎ・九条の会」No135)